



津田かおり

VOL 16

2023 秋

通信



9 月議会での一般質問

1. 女性活躍と男性の育休取得促進
2. ひとり暮らし高齢者の「終活」支援
3. こどもの声を活かす取り組み
4. 誰もが投票しやすい環境づくり

--- 概要は次項へ ---

市民の皆様からいただいたご要望やご意見は、これまでに約 1,400 件を超えました。この中から議会質問等を行い着実に実現しています。また地域安全に関するご要望やご意見に対処した場所も 100 ヶ所を超えました。

いよいよ来年 3 月 16 日、北陸新幹線の県内開業を迎えます。半年後の市内の賑わいが楽しみです。さらに市民の皆様のお声を聴きながら、福井市の発展に向けて全力を尽くしてまいります。

実現しました！



使用済み「おむつ」の園での処分

こども園、保育園での使用済みオムツは、保護者が持ち帰っていましたが、保護者や保育士の負担を軽減するために、園での処分を本年 3 月議会でご要望しました。この度「**園でラクラクポイッ！おむつ廃棄事業**」として園での処分が決定しました。

(2024 年から開始)

結婚生活スタートアップ応援事業

本年 3 月議会において、新婚世帯の経済的負担を軽減するための支援を要望していました。

住宅賃借費用・引越し費用など
(最大 100 万円) が補助される
ようになりました。

(年齢・所得制限あり)



投票支援カードの導入

今回の議会において要望しました。
身体・心に障がいを持っている人や
高齢者などの投票を支援するカード
です。次の選挙より導入されます。

(裏面ご参照)

市民相談 1,400 件超えました
(2019 年 4 月～)

市民の皆様からの様々なご要望
ご相談に、速やかに対応させて
いただきます！



LINE でも
お気軽に！

〒910-0065
福井市八ツ島町 15-1-4

電話・FAX 0776-92-0686

E-mail kaoritsuda2018@yahoo.co.jp

レップだ！
ガッつだ！



津田かおり
ホームページ

女性活躍と男性の育児取得促進



Q 本市の女性の就業率と実態は？

A 本市女性の就業率＝58.5%
未就学児の育児をしながら働いている女性の割合＝88.6%（2022 国の就業基本調査による）
県内で妊娠または出産により退職した女性の割合
正規従業員＝2.5% パートタイム労働者＝3.3%（2022 県就業環境基礎調査による）

Q 本市の男性職員の育児休暇取得率と感想は？

A 2022 年度、育児休暇可能の62名中22名が育児休業を取得、取得率は35.5%
取得した男性職員の声

「育児の楽しみだけでなく、苦労や大変さ、寝不足の日々を妻と共有できたことで家族の絆がさらに強くなりました。」

「上司からの後押しや、職場の理解があり助かりました。」
妻からは・・・

「出産で体がままならない中で、育児と家事を再開する不安があったが、そばにいてくれ心強かった。」



Q 女性活躍と男性の育児休暇取得促進への取り組みは？

A 本県では共働き率が高く、家事・育児の負担が女性に大きく偏っており、女性活躍が進まない要因のひとつとなっている。男性の育児休暇が当たり前となる企業風土づくりを目的に「パパ育休100%チャレンジ事業」を実施している。具体的には、企業へむけてセミナーの開催、またモデル企業にアドバイザー派遣、制度構築や仕組みづくり等のサポートを行っている。また本市の中小企業雇用促進相談員による企業訪問、本市ホームページへの掲載等周知に努めていく。

女性活躍促進のための取り組みとして、女性には管理職及びキャリアアップへの意欲向上を図る交流会、男性には家事・育児参画の講座の開催、企業には、先進事例等の情報発信、学生には、出前講座を実施している。

Q 本市の終活支援の取り組みと相談状況

A 終活（医療介護・財産・葬儀・お墓等）について講習会やリーフレット等を活用して周知を図ってきたが、2022 年度におこなった調査では、終活について「よく知っている」と回答した高齢者は2.0%と低かった。この中で県と県医師会で県版エンディングノート「つぐみ」を作成した。興味をもたれている方が多いため、終活への関心が高まっていると感じている。

Q ひとり暮らし高齢者の孤独死への対応と現状は？

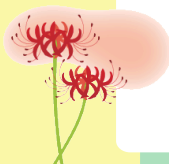
A 民生委員や地域包括支援センターによる訪問や緊急通報装置の貸与、緊急時に市内協力事業者から警察へ通報する見守りネットワーク事業などに取り組んでいる。現状については、共通の定義がないため正確な件数は回答できないが、地域包括センターが対応した孤独死とみられる件数は2020 年＝8 件 2021 年＝13 件 2022 年＝12 件

Q 実情に応じた「終活支援」への所見は？

A エンディングノートは、元気なうちから本人の思いや価値観、財産、医療や介護の希望など、身近な人と共有して万が一に備えることが大切、その意義について広く普及啓発を行っている。特にひとり暮らし等、様々な事情により共有できない人に対しては、地域包括センター等が助言していく。



ひとり暮らし高齢者の「終活」支援



子どもの声を 活かす取り組み

Q 子どもの声を活かす取り組みとして、ワークショップの開催を提案する。
また「子どもまんなか社会」を実現していくために「もし市長になったら」の
作文募集で子どもたちの意見を模索することを提案する。

A 現在、国では「子どもの意見反映プロセスの在り方に関する調査研究」をもとに、
意見聴取の際に気をつけることや、子どもの主張を聴き取る手法などをまとめたガイ
ドラインを策定している。このガイドラインが公表され次第、幅広い年齢の子どもが
意見を言いやすい環境づくりや、声を上げにくい子どもや若
者の意見を聴くために、工夫して市社会福祉審議会児童福祉
専門分科会で意見を聞き、意見聴取のあり方を決定していく。
ワークショップの開催「もし市長になったら」の作文につい
ても、子どもの「声」を活かす手段であり、意見聴取の方法
として今後検討していく。



誰もが投票しやすい環境づくり

Q 本年4月の統一地方選において、代理投票を申し出た方の人数は？

A 県知事選挙および市議会議員選挙では、182人 県議会議員選挙では、173人

Q 投票支援カードを作成し導入する考えはあるか？

A 次の選挙からホームページおよび選挙の際に各家庭に配布する選挙公報チラシに、
投票支援カードの様式と記載例を掲載する。

Q コミュニケーションボードは投票所にどのように配備されているのか？投票
所で見るのがないため、その存在すら知らない人がほとんどである。投票
に来た方の目につきやすいようにしてほしい。

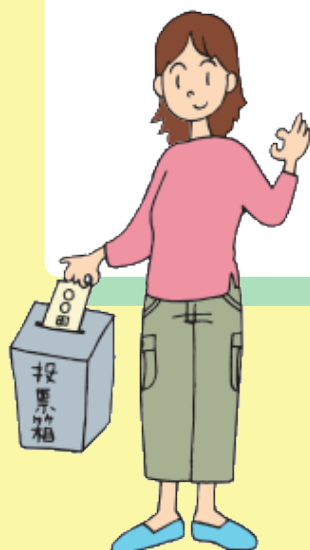
A 2019年の統一地方選挙から全ての期日前投票所および当日投票所に配備してるが、
受付担当者の判断で、取り扱いをしていた。今後は効果的な方法を検討していく。

投票支援カードとは・・・

「代筆してほしい」「候補者名を読んでほしい」など、
投票の際に支援してほしいことを事前に選択・記入
できる用紙。インターネットでもダウンロードできる。

コミュニケーションボードとは・・・

係員と投票者の間で想定されるや
りとりをボード上にイラストにし
て掲載したもの
(投票所でお互いに、指差しで伝達する)



9月13日一般質問
動画はこちら →



予算特別委員会での質問 --- 概要 ---

Q スマホ等でいつでも、画面上で貸出・返却ができ、貸出期間が過ぎると自動で返却される「電子図書館」の導入を求める。

A 現在申請中で、近く 導入予定。
扱う書籍の多くは、障がいを持つ方対象の書籍からと考えている。

Q 本市の「読書バリアフリー」に対する考えは。

A 点字図書、大活字図書、ＬＬブック等の媒体を所蔵している。電話やホームページからも申し込みができる。ゆうパックを利用した郵送での受渡し、返却も行っている。

Q 毎年の猛暑である。夏期の体育の授業や部活災害時の避難所にもなる学校体育館へのエアコンについて、文科省だけでなく経産省等の補助金を使い、設置していただきたい。

読書の秋です



予算特別委員会
動画はこちら



9月21日



9月22日

Q 「産後ケア事業」について。国は今年度より所得制限をなくして、1回最大2,500円（5回まで）を減免助成し対象者も「産後ケアを必要とする者」に拡充しているが、本市は未だ所得制限を設け以前のままである。現状と今後の取り組みは？

A 現在、訪問型・通所型・宿泊型があり、宿泊型を希望される方が多いが、受け入れる施設が少ないことが課題。「産後ケア事業」については、早急に拡充できるよう検討していく。

A 熱中症アラートが出た時は、教育活動を停止している。体育館にはスポットクーラーや大型扇風機を配備し対応しているので、今のところ設置の予定はない。

安心安全のまちづくり

101 大森町山ぎわの法面補修

山から流れてくる水が、うまく排水されていませんでした。



106 二の宮5丁目道路全面舗装

路面の損傷が多数あり、東西南北に渡り全面舗装を実施しました。



103 クルサ南側道路舗装

路面の凸凹により、「日新さんさんバス」が通ると上下に激しく揺れていました。



スマホでQRコードを読み込むと地図を地図が現れます。



101



赤い番号を選んでタップすると画像とコメントが表示されます。